

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4612		
科目名	危機管理特殊研究 2		
担当教員	勝股 秀通		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 2		
講義室	1311	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－G 〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4－F 〔探求力・課題解決力〕 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 6－K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7－L 〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 D P 8－M 〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（15%） F 1 探求と論拠（20%） F 2 課題解決（10%） G 1 状況把握（10%） K 1 ライティング・コミュニケーション（10%） K 2 オーラル・コミュニケーション（10%） L 1 チームワーク（15%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	担当教員は長年、全国紙の新聞記者として外交・防衛など安全保障問題を専門に取材し、報道に携わってきたほか、様々な事件や事故、地震や噴火など自然災害の現場取材も豊富で、この特殊研究では、担当教員の実務経験を活かし、過去の取材などに基づいた危機の場面や状況について詳しい内容を提示します。 グループ研究においては、新聞社が編集部内の垣根を越えて「班」を編成し、企画や特集、調査報道などに取り組む手法を取り入れ、まずは学生各々が意見を出し合い、問題点や課題などを洗い出しながらテーマを選定します。特に6回目以降の授業では、担当教員は現場の経験を踏まえたアドバイスを送り、幅広い選択肢を提示することによって、学生と教員との相互の活発な議論を通じてグループ研究をバックアップします。危機管理は現場感覚が必要な新しい領域であり、実際に多くの危機の場面を取材した経験を学生にはフィードバックできると思います。		

成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期	
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマの科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務についての知識を習得するための基礎的な指導を行います。授業形態は演習により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：情報収集（先を読む）、何が危機（リスク）となるのか、危機の現場を知る	
授業の趣旨	■副題 社会の動きに目を凝らし、耳を澄ませ、そして、もっと敏感になろう ■授業の目的 個人で取り組む研究テーマ、グループで取り組む研究テーマを考えるためにも、常に社会事象に目を凝らし、耳を傾けながら、顕在化している危機や危機の種（芽）を探すことから始めます。そのためには新聞報道などを通じて問題点を議論することを繰り返しながら、自分が取り組んでみたいと思うテーマを設定することを目的とします。 ■授業のポイント 新型コロナウイルスの感染拡大という国家的かつ世界的な危機（有事）に直面している現状においては、この問題にしっかりと向き合う必要があります。単に感染症対策という狭い範囲ではなく、危機における情報発信はどうするのか、緊急事態宣言の問題点、さらに複合災害の視点など課題は多岐にわたっています。2021年度、22年度ではまず3年次の特殊研究1 & 2では、コロナ災害を主テーマに、主に新聞報道を教材にしながら、学生の関心に基づき、繰り返し議論します。	
総合到達目標	■自分たちを取り巻く社会は今、どのような危機に直面し、また直面する恐れがあるのかについて気づき、関心を深めようとすることができる。 ・災害やパブリック、グローバルといった領域にとどまらず、複合的に重なり合った危機など、危機の幅広さについて気づくことができる。 ■グループでの議論を通じてテーマを絞り込み、1つのテーマを協働して研究に取り組み、発表などの場を通じて成果物として完成させることができる。 ・関心の高いテーマの中からいくつかのテーマを抽出し、議論や調査の過程で得られるさまざまな気づきを経て、研究を深めていくことができる。	
成績評価方法	■レポートの提出など授業参加度（50%）適用ルーブリック E 1、F 1、F 2、M 1 （評価の観点） 課題などについてあらかじめ情報を収集するなどして、演習で議論するための材料を提供することができているかについて評価します。 （フィードバックの方法） 授業中に適宜指導します。 ■グループ発表への貢献（50%）適用ルーブリック G 1、K 1、K 2、L 1 （評価の観点） 秋の文化祭での研究発表に向けて、グループ討議に積極的に参加し、率先して協働しているかを評価します。 （フィードバックの方法） 授業中に適宜指導します。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 研究テーマの発表① ②授業概要 研究生は特殊研究1での学び、及び夏期休暇中の集中演習（合宿）において絞り込んだ自分の研究テーマ、もしくは取り組んでみたいテーマについて、特殊研究2の期間中に到達する目標と、その手法についてプレゼンテーションする。（E 1、F 1、F 2、G 1、L 1、K 2） ③予習（120分） 研究テーマの進捗状況について、きちんとプレゼンテーションできるように準備する。 ④復習（120分） 発表と討論を通して得た意見などを参考にしながら、研究テーマについてブラッシュアップする。

2	①授業テーマ 研究テーマの発表② ②授業概要 研究生は特殊研究1での学び、及び夏期休暇中の集中演習（合宿）において絞り込んだ自分の研究テーマ、もしくは取り組んでみたいテーマについて、特殊研究2の期間中に到達する目標と、その手法についてプレゼンテーションする。（E1, F1, F2, G1, L1, K2） ③予習（120分） 研究テーマの進捗状況について、きちんとプレゼンテーションできるように準備する。 ④復習（120分） 発表と討論を通して得た意見などを参考にしながら、研究テーマについてブラッシュアップする。
3	①授業テーマ 研究テーマの発表③ ②授業概要 研究生は特殊研究1での学び、及び夏期休暇中の集中演習（合宿）において絞り込んだ自分の研究テーマ、もしくは取り組んでみたいテーマについて、特殊研究2の期間中に到達する目標と、その手法についてプレゼンテーションする。（E1, F1, F2, G1, L1, K2） すべての研究生の発表を聞いたうえで、担当教員は実務経験を踏まえて、各自のテーマについて研究生が気が付いていない視点や問題点などについて説明します。 ③予習（120分） 研究テーマの進捗状況について、きちんとプレゼンテーションできるように準備する。 ④復習（120分） 発表と討論を通して得た意見などを参考にしながら、研究テーマについてブラッシュアップする。
4	①授業テーマ グループ研究発表の仕上げ① ②授業概要 特殊研究の共同作業である三茶祭における発表内容について、各研究生は担当する項目について、夏期休暇中の調査内容を発表するほか、パワーポイントの作成など発表に向けての作業を進める。（K1, K2, L1, F2） ③予習（120分） 共同作業で割り振られた役割について、きちんと発表できるように準備する。 ④復習（120分） 割り振られた役割について、不足している調査などの作業を進めておく。
5	①授業テーマ グループ研究発表の仕上げ② ②授業概要 特殊研究の共同作業である三茶祭における発表内容について、各研究生は担当する項目について、夏期休暇中の調査内容を発表するほか、パワーポイントの作成など発表に向けての作業を進める。（K1, K2, L1, F2） ③予習（120分） 共同作業で割り振られた役割について、きちんと発表できるように準備する。 ④復習（120分） 割り振られた役割について、不足している調査などの作業を進めておく。
6	①授業テーマ グループ研究発表の仕上げ③ ②授業概要 特殊研究の共同作業である三茶祭における発表内容について、各研究生は担当する項目について、夏期休暇中の調査内容を発表するほか、パワーポイントの作成など発表に向けての作業を進める。（K1, K2, L1, F2） 担当教員は実務経験を踏まえて、研究発表で追加すべき視点や考え方などについて説明します。 ③予習（120分） 共同作業で割り振られた役割について、きちんと発表できるように準備する。 ④復習（120分） 割り振られた役割について、不足している調査などの作業を進めておく。
7	①授業テーマ 企業研究・危機管理の視点から① ②授業概要 研究生が関心を持っている企業や業種、官公庁等の組織について、それぞれを取り巻く環境の変化、社会的評価の変化などについて、研究生は危機管理の視点から問題の所在を発表し、組織間の比較などを通じて理解を深める。担当教員は実務経験を踏まえて、それぞれの組織に関連するトピックスを説明し、研究生の職業選択の幅を広げるようアドバイスします。（E1, F1, G1, K2）

	③予習（120分） 研究生は就活の対象と考えている企業や業界などに内在する、もしくはすでに顕在化している問題点を見つけ、発表できるようにまとめておく。 ④復習（120分） 議論を振り返って、取り上げた企業や業界（官公庁を含む）に関する課題などを整理しておく。
8	①授業テーマ 企業研究・危機管理の視点から② ②授業概要 研究生が関心を持っている企業や業種、官公庁等の組織について、それぞれを取り巻く環境の変化、社会的評価の変化などについて、研究生は危機管理の視点から問題の所在を発表し、組織間の比較などを通じて理解を深める。担当教員は実務経験を踏まえて、それぞれの組織に関連するトピックスを説明し、研究生の職業選択の幅を広げるようアドバイスします。（E 1, F 1, G 1, K 2） ③予習（120分） 研究生は就活の対象と考えている企業や業界などに内在する、もしくはすでに顕在化している問題点を見つけ、発表できるようにまとめておく。 ④復習（120分） 議論を振り返って、取り上げた企業や業界（官公庁を含む）に関する課題などを整理しておく。
9	①授業テーマ 企業研究・危機管理の視点から③ ②授業概要 研究生が関心を持っている企業や業種、官公庁等の組織について、それぞれを取り巻く環境の変化、社会的評価の変化などについて、研究生は危機管理の視点から問題の所在を発表し、組織間の比較などを通じて理解を深める。担当教員は実務経験を踏まえて、それぞれの組織に関連するトピックスを説明し、研究生の職業選択の幅を広げるようアドバイスします。（E 1, F 1, G 1, K 2） ③予習（120分） 研究生は就活の対象と考えている企業や業界などに内在する、もしくはすでに顕在化している問題点を見つけ、発表できるようにまとめておく。 ④復習（120分） 議論を振り返って、取り上げた企業や業界（官公庁を含む）に関する課題などを整理しておく。
10	①授業テーマ 相手に伝わる文章を書く① ②授業概要 研究生がまとめる研究論文をはじめ、就職活動のために作成するエントリーシートなど文章を書く上で大切なことは、最も伝えたい要素を簡潔な形で示し、文章のぜい肉をそぎ落とすこと。研究生は与えられたテーマに基づいて仕上げてきた文章を発表し、他の研究生全員が文章をブラッシュアップさせるための課題を指摘する。担当教員は実務経験を踏まえて、文章作成について指導します。（E 1, F 1, F 2, G 1, K 1） ③予習（120分） 与えられたテーマに基づき、800字で文章をまとめる。 ④復習（120分） 授業で指摘された内容を取り入れながら、作文を仕上げる。
11	①授業テーマ 相手に伝わる文章を書く② ②授業概要 研究生がまとめる研究論文をはじめ、就職活動のために作成するエントリーシートなど文章を書く上で大切なことは、最も伝えたい要素を簡潔な形で示し、文章のぜい肉をそぎ落とすこと。研究生は与えられたテーマに基づいて仕上げてきた文章を発表し、他の研究生全員が文章をブラッシュアップさせるための課題を指摘する。担当教員は実務経験を踏まえて、文章作成について指導します。（E 1, F 1, F 2, G 1, K 1） ③予習（120分） 与えられたテーマに基づき、800字で文章をまとめる。 ④復習（120分） 授業で指摘された内容を取り入れながら、作文を仕上げる。
12	①授業テーマ 相手に伝わる文章を書く③ ②授業概要 研究生がまとめる研究論文をはじめ、就職活動のために作成するエントリーシートなど文章を書く上で大切なことは、最も伝えたい要素を簡潔な形で示し、文章のぜい肉をそぎ落とすこと。研究生は与えられたテーマに基づいて仕上げてきた文章を発表し、他の研究生全員が文章をブラッシュアップさせるための課題を指摘する。担当教員は実務経験を踏まえて、文章作成について指導します。（E 1, F 1, F 2, G 1, K 1） ③予習（120分） 与えられたテーマに基づき、800字で文章をまとめる。

		④復習（120分） 授業で指摘された内容を取り入れながら、作文を仕上げる。
	13	①授業テーマ 相手に伝わる文章を書く④ ②授業概要 研究生がまとめる研究論文をはじめ、就職活動のために作成するエントリーシートなど文章を書く上で大切なことは、最も伝えたい要素を簡潔な形で示し、文章のぜい肉をそぎ落とすこと。研究生は与えられたテーマに基づいて仕上げてきた文章を発表し、他の研究生全員が文章をブラッシュアップさせるための課題を指摘する。担当教員は実務経験を踏まえて、文章作成について指導します。（E1, F1, F2, G1, K1） ③予習（120分） 与えられたテーマに基づき、800字で文章をまとめる。 ④復習（120分） 授業で指摘された内容を取り入れながら、作文を仕上げる。
	14	①授業テーマ 研究テーマの中間発表 ②授業概要 特殊研究1 & 2の学びを通して、研究生は自分の研究テーマについて、論文作成を前提に論文の構成（目次・必要な調査や資料収集・場面など）について発表する。（E1, F1, F2, G1, K1, K2, L1, M1） ③予習（120分） 論文構成について、しっかりと練り上げて準備する。 ④復習（120分） 授業の討議で気づかされた視点を踏まえて、論文構成を見直して改善する。
	15	①授業テーマ 卒業論文発表会 ②授業概要 4年生の卒業論文及び卒業研究の発表を聞き、3年の研究生は自分の研究テーマについて、論文作成の手がかり（目次・必要な調査や資料収集・場面など）についてヒントを得るようにする。（E1, F1, F2, G1, K1, K2, L1, M1） ③予習（120分） 自分の論文の流れなどをしっかりと練り上げて準備する。 ④復習（120分） 卒業論文の発表で気づかされた視点を踏まえて、論文構成を見直して改善する。
関連科目	「企業広報論 RMGT3578」（3年次後期配当） 「危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602」（2年次後期配当） 「危機管理特殊研究1 RMGT4611」（3年次前期配当） 「危機管理特殊研究3 RMGT4613」（4年次前期配当） 「危機管理特殊研究4 RMGT4614」（4年次後期配当）	
教科書	特にありません。主な教材として新聞を使用します。	
参考書・参考URL	研究生には適宜指示します。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。その他の時間はメール等で適宜連絡に応じます。	
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント15%：パブリックセキュリティ15%：グローバルセキュリティ15%：情報セキュリティ55% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%	

